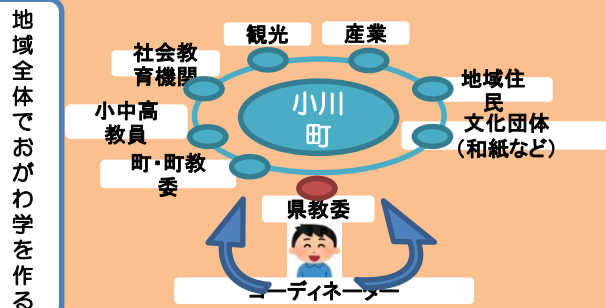


《地域課題の解決等に向けた探究的な学びを通じ、学校と地域が連携して地域を担う人材を育成する「おがわ学」の構築と実践》

団体・学校の特徴	「おがわ学」では、小川町で学ぶ児童生徒が、地域の自然、歴史・文化や産業などに関わる教育資源を題材に、地域活動に参画することを通して、発達段階に応じた探究的な学びを深めています。				
所在地(市町村名)	小川町	会員数又は児童生徒数	42名	活動期間	2年7か月
活動内容	「おがわ学」を学ぶことをとおして児童生徒の地域に対する愛着や誇りを育て、地域課題の解決に必要な資質・能力を身に付けさせるため、学校、町、民間の団体や地域の方々が力を合わせて構築・実践に取り組んでいます。				

○学校と地域が連携・協働した研究開発体制

地元の自治体、産業界、文化団体、地域住民、町立小、中学校教員等で構成する「おがわ学構想委員会」(コンソーシアム)を組織して活動しています。



○地域と連携して小・中・高校が、一連の学びを段階的に深めるため、目指す児童生徒像を共有し、授業実践に取り組んでいます。また、小・中・高校が「おがわ学」を系統的に学ぶために、小学校から高校までの体系的な学習指導計画を策定し、テキストを作成し授業で活用しています。



・おがわ学フォーラムを開催

「おがわ学」の取組を県内外に広く周知するため、小・中・高校の児童生徒と地域の方々が参加しました。

